



2022年3月期 決算説明資料



三ツ星ベルト株式会社

将来情報についての注意事項



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2021年度連結業績

(単位：百万円) **MITSUBOSHI**

	2020実績	2021実績	差異	率
売上高	64,862	74,870	+10,008	+15.4%
営業利益	4,968	7,640	+2,672	+53.8%
率	7.7%	10.2%		
経常利益	5,759	8,552	+2,793	+48.5%
率	8.9%	11.4%		
親会社株主に帰属する当期純利益	4,066	6,380	+2,314	+56.9%
	6.3%	8.5%		

(2021年度業績)

増収・増益 利益は大幅に回復

- 新型コロナウイルス感染症再拡大の影響も、ワクチン接種の進展に伴い、経済回復
- 環境の変化にぶれない強い企業を目指し、より一層の経営効率化とコスト削減
- 通期では増収・増益



(四半期推移)

コロナ禍以前の水準へ

- 前年度の後半から徐々に回復傾向
- 第2四半期以降も、経済回復
- 半導体不足、原材料価格、物流費などの高騰続く

セグメント別売上高

(単位：百万円) **MITSUBOSHI**

	2020実績	2021実績	差異	率%	
セグメント別	国内ベルト	24,777 38.2%	27,774 37.1%	+2,997	+12.1%
	海外ベルト	29,611 45.7%	36,488 48.7%	+6,877	+23.2%
	建設資材	5,747 8.9%	5,363 7.2%	△384	△6.7%
	その他	4,726 7.3%	5,242 7.0%	+516	+10.9%
	計	64,862 100%	74,870 100%	+10,008	+15.4%
海外売上高	30,058 46.3%	37,065 49.5%	+7,007	+23.3%	

セグメント別売上高

海外売上高比率推移

(セグメント別売上高)

主力のベルトは国内外で増加

国内ベルト

- 主要顧客の経済活動が回復

海外ベルト

- アジアや欧米のいずれの地域においても回復

建設資材

- 建築部門 改修工事物件が回復傾向
- 土木部門 工事物件減少や規模縮小

ベルト売上高の内訳 (単位: 百万円)

	2020実績		2021実績		差異	率%
自動車用	27,102	49.8%	31,942	49.7%	+4,840	+17.9 %
一般産業用	18,868	34.7%	23,040	35.9%	+4,172	+22.1 %
OA機器用	2,219	4.1%	2,331	3.6%	+112	+5.0 %
搬送用	3,509	6.5%	3,882	6.0%	+373	+10.6 %
合成樹脂素材	2,690	4.9%	3,068	4.8%	+378	+14.1 %
ベルト計	54,388	100%	64,263	100%	+9,875	+18.2 %

	2020実績		2021実績	
自動車	49.8%	49.8%	49.7%	49.7%
一般産業	34.7%	34.7%	35.9%	35.9%
OA	4.1%	4.1%	3.6%	3.6%
搬送	6.5%	6.5%	6.0%	6.0%
樹脂	4.9%	4.9%	4.8%	4.8%

(ベルト売上高) いずれの品目も増加

自動車用

- 国内 ユーザーの生産回復
- 海外 アジア、米国で売上増加

一般産業用

- 国内 主要業界向けが好調に推移
- 海外 補修市場の拡販

OA機器用

- 回復傾向も、前期並み

搬送用・合成樹脂素材

- 国内市場で需要が回復

営業利益の変動要因 (単位: 億円)

	2020実績	2021実績	差異
売上高	648.6	748.7	100.1
営業利益	49.6	76.4	26.7
経常利益	57.5	85.5	27.9

- 経済活動の回復に伴い売上高は大幅増
- 事業活動の活発化により労務費・人件費が増加。
- 原材料価格、物流コストが上昇。

(営業利益) 売上増加に伴って大幅に回復

増益要因

- 売上高増加に伴い大幅回復

減益要因

- 原油価格の上昇に伴う原材料価格高騰
- 物流コストの上昇
- 事業活動の活発化に伴い労務費・人件費が増加

設備投資と減価償却費 (単位: 億円)

(金額は資産計上ベース)

項目	2017	2018	2019	2020	2021	2022
設備投資	32	33	60	37	44	40
減価償却費	30	30	33	40	39	38

(設備投資) 製造設備と物流設備の整備を継続

2021年度

- 国内外の生産再編や、物流設備の改善

2022年度

- 国内外の製造設備の更新や増強
- 試験研究設備のさらなる充実

(金額は資産計上ベース)

'21中期経営計画の振り返り



期 間	2021年度 ~ 2023年度				
売上高・営業利益 目標値 実績値	2023年度 売上高750億円 営業利益率11%以上 <small>年度別推移 (単位:億円)</small>				
		2021目標	2021実績	2022目標	2023目標
	売上高	700	748	730	750
	営業利益	73	76	80	83
	1USD	105円	112.38円 <small>(期中平均レート)</small>	105円	
1EUR	115円	130.56円 <small>(期中平均レート)</small>	115円		
利益還元に関する目標値	目 標		2021実績		
	1株あたり配当金	54円以上 <small>(連結配当性向35%)</small>		143円 <small>(連結配当性向64.9%)</small>	
	連結総還元性向	50% (3年間の平均)		75.3%	

'21中期経営計画の振り返り

中期経営計画の1年目
 ・売上高、営業利益ともに目標を達成
 ・利益還元も目標を大きく上回る

'21中期経営計画の見直し



期 間	2022年度 ~ 2023年度				
売上高・営業利益 目標値	2023年度 売上高800億円 ROE8% (見直し後) <small>年度別推移 (単位:億円)</small>				
		見直し前		見直し後	
		2022目標	2023目標	2022目標	2023目標
	売上高	730	750	775	800
	営業利益	80	83	80	83
1USD	105円		115円		
1EUR	115円		125円		
利益還元に関する目標値 ・ 設備投資総枠	見直し前		見直し後		
	連結配当性向	54円/株以上 (35%) 総還元性向50%		100% <small>(2022年度、2023年度)</small>	
	設備投資総枠 <small>(3年間)</small>	150億円		230億円	

'21中期経営計画の見直し

中期経営計画の見直し
 経営目標値
 ・2023年度
 売上高800億円、営業利益83億円、ROE 8%
 利益還元目標
 ・連結配当性向100% (2022年度、2023年度)
 設備投資総枠 (2021年度~2023年度)
 ・150億円から230億円へ増額

次期業績予想

(単位:百万円)



	2021 実績	'21中期 経営計画	2022開示			前期比	
			上期	下期	通期	金額	%
売上高	74,870	77,500	39,200	38,300	77,500	+2,630	+3.5 %
営業利益	7,640	8,000	4,000	4,000	8,000	+360	+4.7 %
率	10.2%	10.3%	10.2 %	10.4 %	10.3%		
経常利益	8,552		3,800	4,200	8,000	△552	△6.5 %
率	11.4%		9.7 %	11.0 %	10.3 %		
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,380		2,700	3,600	6,300	△80	△1.3 %

為替レート

1USD=115円

1EUR=125円

(次期業績予想)

中期経営計画で掲げた目標値を必達

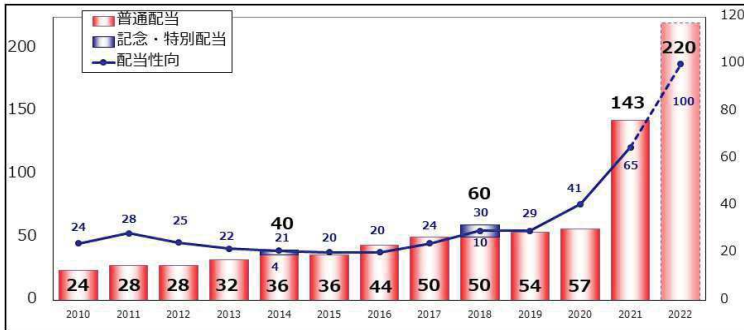
「'21中期経営計画の見直し」
 の達成に向けて取り組む

2022年度
 売上高 775億円
 営業利益 80億円
 経常利益 80億円
 当期純利益 63億円

配当金



	中間	期末	合計	
2020年度	27円	30円	57円	
2021年度(予定)	33円	33円→ 110円	143円	86円増配
2022年度(予想)	110円	110円	220円	77円増配



2018年10月1日付の株式併合(2株→1株)に伴い、配当金は併合後の基準で換算しています。

(配当金)

期末配当を77円増配し通期143円

2021年度

- ・ 期末配当を77円増配 110円
- ・ 年間配当 143円

2022年度

- ・ 目標 連結配当性向100%
- ・ 中間、期末とも110円
- ・ 年間配当 220円